

短期大学部 ライフデザイン学科

<ディプロマポリシー>

卒業認定・学位授与の方針
建学の精神のもと、以下の力を身につけ、学則に定める卒業要件を満たした者に学位を授与する。 1. 思いやりの心を持って、学びの意欲を高めることができる 2. 21世紀の教養を身につけ、広い視野と将来の見通しを持って社会とかかわることができる 3. 社会に生きる人材として、多様な知識や技術、感性を身につける

<ミドルレベルディプロマポリシー>

ライフデザイン学科では、学びの分野ごとに、ディプロマポリシーの下位にミドルレベルディプロマポリシーを作成している。

ライフデザイン
1-1. 建学の精神に通じる思いやりの心を身につける 1-2. 学びの基礎の学習を通して、学びの楽しさを理解する 2-1. 生涯にわたり、自ら持続的に学ぶ姿勢を身につける 2-2. 現実の中に問題を見つけ、自ら答えを見つける姿勢を身につける 3-1. 能動的な学びを通じて、チームの一員として活動することができる 3-2. 学んだ手法を社会の様々な局面で活かせる応用力・展開力を身につける
コミュニケーション
1-1. 思いやりの心を持って他者と接することができる 1-2. 他者と交流することの楽しみ、喜びを知ることができる 2-1. 多様な心の在り方と表現を理解することができる 2-2. 現代社会の諸問題を理解し、より良い社会の在り方を考えることができる 3-1. 他者と円滑な関係をとるための知識と技法を身につける 3-2. 社会生活に必要な、傾聴力、発信力、働きかけ力を身につける
社会を学ぶ
1-1. 世の中のできごとを、社会の一員として共感を持って受け止める 1-2. 社会を深く学ぶことが、自立につながり人生を豊かにすることを知る 2-1. 世の中のさまざまな仕組みや動きなどを、幅広く理解する 2-2. 何が問われているのか、何が大切なのかを、しっかり把握し判断できる 3-1. 自立した社会人として必要な知識と感性を身につける 3-2. 社会の一員として、主体性を持って責任ある行動や発言ができる
ビジネス基礎
1-1. TPOに応じた適切な行動・態度を身につける 1-2. 社会で活躍しようとする高い志をもつことができる 2-1. ビジネス社会におけるさまざまなルールやマナーを理解する 2-2. 女性を取り巻く現代社会の諸問題を理解し、より良い社会の在り方を考えることができる 3-1. 社会人として必要な基礎学力を身につける 3-2. 自らのキャリアデザインを実現するための応用力を身につける

<p>情報基礎</p> <p>1-1. 適切な情報倫理を身につける</p> <p>1-2. 意欲をもって ICT の学習にとりくむことができる</p> <p>2-1. ICT 機器やアプリケーションの仕組みを理解する</p> <p>2-2. 21 世紀における ICT の課題を理解し、これからの可能性を考えることができる</p> <p>3-1. 生活の中でパソコンを活用することができる知識と技術を身につける</p> <p>3-2. ICT を活用した課題発見力・情報発信力を身につける</p>
<p>グローバル</p> <p>1-1. 自らが世界とつながっていることを実感し、世界のできごとに共感できる</p> <p>1-2. 国際社会の一員であることを自覚し、世界についての認識を高める</p> <p>2-1. 国際社会の動きや仕組みなど、世界に関する基礎的な知識を幅広く身につける</p> <p>2-2. 世界で何が問われているか、何が大切かを、しっかり把握し判断できる</p> <p>3-1. グローバル社会の一員として必要な知識と感性を身につける</p> <p>3-2. 多様な人々とともに生きていくために必要な柔軟性と実行力を身につける</p>
<p>ファッション</p> <p>1-1. 着る人の立場に立って、よりよい衣生活環境の実現を考えることができる</p> <p>1-2. おしゃれを通じた楽しみ、喜びを知ることができる</p> <p>2-1. 装い文化の多様性とファッションの変遷を理解する</p> <p>2-2. 現代のアパレル産業が持つ課題を認識して、持続可能な社会の実現に視点を向けることができる</p> <p>3-1. ファッションビジネスに関わる基礎知識と簡単な技術を身につける</p> <p>3-2. ファッションビジネス分野における簡単な企画提案ができる</p>
<p>ブライダル</p> <p>1-1. 結婚式に関わるあらゆる人たちとのつながりを大切にし、結婚式に込められた思いに共感できる</p> <p>1-2. ブライダルプロデュースを通じて、新郎新婦をサポートする喜びを知ることができる</p> <p>2-1. 婚礼の歴史と慣習について理解する</p> <p>2-2. 21 世紀におけるブライダルビジネスの課題を理解し、これからの可能性を考えることができる</p> <p>3-1. 人生の一大イベントである結婚式をプロデュースするための知識と技術を身につける</p> <p>3-2. ブライダルビジネスで必要とされるコミュニケーション能力、企画提案力を身につける</p>
<p>フード</p> <p>1-1. 食べる人の立場に立って、健康的な食生活の実現を考えることができる</p> <p>1-2. 食事作りを通じた楽しみ、喜びを知ることができる</p> <p>2-1. 食文化の多様性と食の歴史を理解する</p> <p>2-2. 21 世紀におけるフードビジネスの課題を理解し、これからの可能性を考えることができる</p> <p>3-1. 暮らしを彩る食生活を実現するための知識と技術を身につける</p> <p>3-2. フードビジネスにかかわる企画提案力、コーディネート力を身につける</p>

<p>インテリア</p> <p>1-1. 住まい手の立場に立って、よりよい住環境の実現を考えることができる</p> <p>1-2. インテリアを彩る楽しみ・喜びを知ることができる</p> <p>2-1. 住まいの歴史の変遷、世界の住文化の多様性を理解する</p> <p>2-2. 住まいを取り巻く社会問題を理解し、これからの課題と解決策について考えることができる</p> <p>3-1. 適切なインテリアを発想するための知識、技術、感性を身につける</p> <p>3-2. インテリアにかかわる企画提案力、コーディネート力を身につける</p>
<p>デザイン企画</p> <p>1-1. 人々が幸せと喜びを感じるデザインを考えることができる</p> <p>1-2. デザインを通して、創造する楽しさ、喜びを感じることができる</p> <p>2-1. 時代の変化にともなったデザインの変遷と発展を理解することができる</p> <p>2-2. 社会におけるデザインの役割と、これからの時代におけるデザインの理想像を描くことができる</p> <p>3-1. 創造性の高いデザインを考えることができ、それを創り上げるスキルをもつことができる</p> <p>3-2. 新しい商品やサービスを生み出すための課題発見力や創造力を身につけることができる</p>
<p>医療事務</p> <p>1-1. 患者に対する医療事務の重要性を理解し、思いやりの心を持って患者に接遇できる</p> <p>1-2. 医療事務の現状に関心を持ち、常に意欲をもって自らの知識・技能を更新できる</p> <p>2-1. 日本の医療制度のしくみと特徴を理解できる</p> <p>2-2. 社会問題の1つとして、医療・保険・介護の問題を捉えることができる</p> <p>3-1. 医療事務に携わるために必要な知識と技術を身につける</p> <p>3-2. 医療分野のチームの一員として貢献できるチームワーク力を身につける</p>
<p>エンターテインメント</p> <p>1-1. エンターテインメント作品を楽しむ人の立場に立って、よりよいエンターテインメントを考えることができる</p> <p>1-2. エンターテインメント作品を通じた楽しみ、喜びを知ることができる</p> <p>2-1. エンターテインメントの多様性とその変遷を理解する</p> <p>2-2. 社会生活の充実を目指したエンターテインメント業界の課題を理解し、今後の可能性を考えることができる</p> <p>3-1. 社会生活を楽しむエンターテインメントを実現するための知識と手法を身につける</p> <p>3-2. エンターテインメントビジネスにかかわる創造力、柔軟性を身につける</p>
<p>観光</p> <p>1-1. 観光を通じて、ホスピタリティの大切さを知ることができる</p> <p>1-2. 旅にある癒しや楽しさを伝えることができる</p> <p>2-1. 観光の歴史、現状を理解し、将来の展望を考えることができる</p> <p>2-2. 観光を通して環境問題など社会が抱える諸問題を考えることができる</p> <p>3-1. 時代にふさわしい観光を実現するための知識と技術を身につける</p> <p>3-2. さまざまな趣向・目的に応じた観光を提案するための情報収集力と企画力を身につける</p>

京都光華大学短期大学部ディプロマポリシー（卒業認定・学位授与の方針）

歯科衛生学科

従来の歯科衛生士の業務に加えて、より高度で多様な知識と技能、そして思いやりの心をもって患者の健康に寄り添う教養と態度を有することが重要となっている。そこで、本歯科衛生学科が養成する人材像は、建学の精神「仏教精神に基づく女子教育」のもと、他者を配慮し思いやる心を持ち、幅広い年代の人々の歯と口の健康と向き合い、医療・保健・福祉等の多職種と連携・協働して地域住民の健康の維持・増進を支援できる歯科衛生士とする。

DP1	仏教精神による思いやりの心を持ち、一人ひとりの口腔の健康に寄り添う教養と態度を持つ。
DP2	少子高齢社会の進展に伴う多様な歯科・口腔保健のニーズを理解し、乳幼児や高齢者まで、基本的な歯科・口腔保健の対応ができる。
DP3	医療・保健・福祉等の多職種とのチーム医療や保健福祉活動に必要な知識とコミュニケーション能力を持ち、連携・協働ができる。
DP4	地域社会が抱える健康課題に対し、歯科衛生士としての職業倫理感と責任感をもって口腔衛生の観点から課題解決に向けて取り組むことができる。